



楽しかったね！夏季キャンプ

＜米をとぐ＞



飯盒に手を添え、米がこぼれないように水を切ります

＜火をおこす＞



『空気を下から送るんだよ』と空気の通り道を考えながらあおぎます

＜野菜を切る＞



反対の手を「猫の手」にして野菜をしっかりと押さえながら切ります

オリオン組（5歳児）
令和7年7月11・12日
観音池公園 子ども村キャンプ場

＜シートを敷く＞



大きいシートを友達と力を合わせてかけていきます

＜鶏の丸焼きを作る＞



園で「いのちをいただく」の絵本を読んでいたことで『残さず食べよう』と友達と話していました





＜ごみを捨てる＞



「なまごみ」や「プラスチック類」にごみを分別して捨てます

＜森の探検＞



1 時間ほど探検をしました
普段とは違う環境に興味津々です

＜星の学習＞



たちばな天文台の養部先生からスライドを使った星座や雲の話をお聞きしました

評価・反省

- ・「友達と協力する、自分のことは自分でする」というねらいのもと2日間過ごしました。自分の役割を最後までやり遂げたり、自分たちで考えて行動する場面が多く見られました。
- ・今後も、就学に向けて身の回りの始末が出来るようになることや、次への見通しを持って行動することを意識して生活していきます。

＜調理器具を洗う＞



使った調理器具を最後まで自分達で洗います

＜おいしいごはん＞



自分達で作ったご飯はより一段とおいしく、食欲も増していました

＜食事の片付け＞



使用した施設の片づけをします
机を片付けたり、調理器具を運びます

われら高城観音池公園探検隊！

オリオン組(5歳児) 探検日:7/11・12 場所:高城観音池公園

探検のねらい

- ・高城観音池公園の植物や生き物を見つけ観察する
- ・公園を探索し、自然の雄大さを全身で感じ取る

探検前の子供の関心

- ・園外保育で生き物を見つけるとすぐに友達と名称を知らせ合っている。図鑑を見て「セミ」や「カブトムシ」など夏の生き物に関心が高まっている。
- ・高城観音池公園を探検することを楽しみにしている。

環境・道具・服装

- ・ルーペ、コンパス、図鑑、観察器、白い布、紙皿

教育上の配慮

- ・グループごとにルーペ、コンパス、図鑑が入った探検セットを用意し、いつでも見つけたものを観察したり、方角を調べたりできるようにする

実践と評価

実践

- ・探検前に雨が降り出したため、レインコートを着て探検の準備をしたが、10分程で雨が上がり、空が明るくなった。ほどなくしてまた雨が降り始め、『どうして晴れているのに雨が降っているのだろうか』と興味津々な様子だった。夏に見られる入道雲や山の天気が変わりやすいことを知り、自然の面白さを感じていた。
- ・カラスアゲハやモンキアゲハ、アオスジアゲハなどたくさんの種類のアゲハを見つけることができた。見つけると『〇〇アゲハがいるよ』とすぐに特徴や名称を思い出し、知らせあっている。

評価 ・ 反省

- ・天気の変化を全身で感じる事ができ、自然の面白さにますます興味関心が高まっていた。
- ・公園の散策で生き物や木の実や葉っぱなどの植物を見つけると、形や色の違いに気付き、すぐに友達と名前を確認し合う姿が見られた。様々な発見をして、『これはなんだろう』と関心を持ち意欲的に散策していた。





高城観音池公園で、たくさんの 生き物や植物を見つけました



ヤモリ

ふれあいセンターで「ヤモリ」を見つけ、驚きます。漢字では「家守」と書かれ家を守る存在でヤモリが家に出ることは縁起が良いということを教えてもらいました。



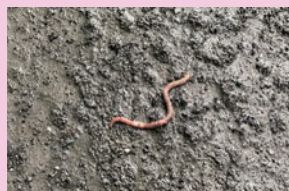
ショウリョウバッタ

芝生にたくさんのバッタがいることに気付きました。頭の形から「ショウリョウバッタ」であることがわかりました。緑色の体は緑の芝に合わせた保護色であることを知りました。



モンキアゲハ

黒い体に後ろ羽の白色の紋を見つけモンキアゲハだとすぐに分かり、知らせます。日中多く見つけることができましたが、雨が降り出すと、林の中に飛んでいきました。



ミミズ

雨上がりに散策路でミミズを見つけ『大きいミミズだね』と話しています。ミミズが土壌を改良し、植物の生育にとって良い環境を作ることを教えてもらいました。